



斎藤 忠志 教授

斎藤忠志教授退職記念号に寄せて

斎藤先生は、平成7年4月に愛知学院大学商学部教授として着任され、以来17年に亘って商学部、大学院商学研究科ならびに大学の発展のために尽力され、平成24年3月をもって、大学院商学研究科客員教授を退職されました。先生の長年のご功績に深謝し、ここに記念号を発刊し、先生に捧げたいと存じます。

先生の赫々たる学術研究業績とご経歴の詳細な内容については、巻末をご覧くださいと思いますが、以下に先生の略歴とご活躍の一部をご紹介します、退職記念号に寄せる言葉とさせていただきます。

斎藤先生は、昭和36年3月東北大学教育学部を卒業後、株式会社日本リサーチセンターを経て昭和40年に財団法人流通経済研究所に入所され、同研究所の常務理事、専務理事を務められました。平成3年九州国際大学国際商学部教授となられた後、平成7年に本学商学部教授に着任され、平成11年本学大学院商学研究科教授に就任されています。

平成10年4月から平成20年3月までの10年間、愛知学院大学流通科学研究所長を務められるなど、商学部、大学院商学研究科ならびに同研究所の発展に貢献されました。

斎藤先生は、大学で心理学を学ばれ、実務界でマーケティング・リサーチを土台にマーケティング研究に励まれ、財団法人流通経済研究所に転じた以降は、流通論、流通政策論等の分野に研究領域を広げてこられました。先生の研究分野は、マーケティング研究をはじめ、卸売業研究、小売業研究、グローバル化時代の流通政策研究等広範な分野にわたり、卓越した研究成果を残されています。問題の奥底にある本質を射貫く洞察性や新たな知見の披瀝は高く評価されています。また、マーケティング、流通分野の著書・事典の編集、執筆にも努力を傾注され、優れた著作を刊行しておられます。

学会活動としては日本商業学会等で活躍されました。

先生が10年間所長を務められた流通科学研究所は、そのご努力と情熱に支えられ、発展、充実してきました。私は、先生が所長を務められたおり、数年間、幹事としてその下で仕事をさせていただき、その模様を見て参りました。先生の広範な学識、問題意識の先見性、研究者を組織する卓越した能力等を真から敬服しております。

これからも商学部、大学全体の発展のために引き続き見守っていただき、ご指導、ご教示ください。

斎藤先生のますますのご健勝・ご活躍をお祈り申し上げ、記念号に寄せる言葉とさせていただきます。

平成25年12月

愛知学院大学商学会 会長 脇 田 弘 久

